



月別販売高状況 (速報)

2019年 6月期 (株)ドン・キホーテ



2019年4月10日

(株)ドン・キホーテ		2018年						上半期	2019年						下半期	通期
		7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月		
既存店	売上高	100.0%	101.4%	103.5%	100.4%	100.5%	98.8%	100.6%	99.7%	101.6%	104.1%	%	%	%	%	101.0%
	客数	98.9%	99.9%	98.6%	101.7%	99.6%	97.7%	99.3%	99.7%	100.5%	102.2%	%	%	%	%	99.8%
	客単価	101.2%	101.5%	105.0%	98.7%	101.0%	101.1%	101.3%	99.9%	101.0%	101.8%	%	%	%	%	101.2%
	対象店舗数	288店	291店	283店	291店	294店	299店	299店	301店	301店	301店	店	店	店	店	301店
	土日休日数増減	-1日	-1日	+2日	-1日	-1日	+1日	-1日	±0日	±0日	+1日	日	日	日	日	±0日

全店	売上高	104.1%	105.9%	108.4%	104.9%	104.4%	102.6%	105.0%	103.1%	105.9%	108.6%	%	%	%	%	105.3%
	家電製品	98.4%	101.0%	109.2%	102.0%	100.8%	101.3%	102.6%	102.0%	104.2%	106.1%	%	%	%	%	103.1%
	日用雑貨品	106.0%	107.1%	107.8%	107.4%	104.7%	103.6%	106.1%	103.8%	105.8%	107.8%	%	%	%	%	106.0%
	食品	109.0%	110.5%	110.5%	110.2%	109.0%	108.3%	109.6%	108.4%	109.1%	113.7%	%	%	%	%	109.9%
	時計・ファッション用品	100.9%	102.9%	109.2%	97.2%	100.4%	96.9%	100.6%	95.5%	101.6%	104.3%	%	%	%	%	100.5%
	スポーツ・レジャー用品	96.4%	100.7%	99.1%	99.2%	99.3%	96.4%	99.1%	100.7%	103.8%	103.0%	%	%	%	%	99.9%
	その他	99.8%	98.8%	103.7%	103.1%	102.3%	98.2%	101.2%	101.2%	103.3%	105.0%	%	%	%	%	101.8%
	店舗数	314店	319店	320店	321店	324店	325店	325店	326店	327店	327店	店	店	店	店	327店
前年同月店舗数	294店	293店	294店	296店	301店	303店	303店	304店	304店	306店	店	店	店	店	306店	

<(株)ドン・キホーテ>

- 当月は周期的に天候が変化して寒暖差が大きくなりましたが、全国的に降水量が少なく、日照時間が多くなりました。桜が満開になった下旬は、気温が低かったことで花冷えとなりました。
- 国内消費は、食品や日用消耗品などの生活必需品が強い牽引力を發揮しており、休日(日曜)1日増の効果も加わって、高い既存店売上高成長率を記録しました。
インバウンド消費は、ASEANからの訪日客増加による寄与度が高まっており、医薬品などの消耗品を主力商品として、月間免税売上高は過去最高となりました。
- 商品部門別の販売動向については、「家電製品」部門は、スマートフォンアクセサリ、ゲーム機、POSAカードが貢献しました。気温低下により加湿器などの季節家電が好調となりました。
「日用雑貨品」部門は、ヘアケア用品やインバス用品などの日用消耗品が力強い成長を果しました。フライパンなどの台所用品が伸長したことに加えて、化粧品及び医薬品が貢献しました。
「食品」部門は、麺類などの加工食品や、牛乳や卵を始めとする日配品が好調となりました。お花見ニーズを反映して、酒、ドリンク類、菓子類が伸長しました。
「時計・ファッション用品」部門は、キャリアケースなどのバッグ類やスポーツ衣料が堅調に推移しました。カラーコンタクトの人気が高まりました。
「スポーツ・レジャー用品」部門は、インバウンドニーズを反映して、日本土産などの和雑貨が伸長しました。玩具が堅調となりました。
- 4月度における新規出店は、18日(木)に「ドン・キホーテ道頓堀北館(大阪府大阪市)」、25日(木)に「MEGAドン・キホーテ甲賀水口店(滋賀県甲賀市)」及び26日(金)に「同 秦野店(神奈川県秦野市)」をそれぞれオープンします。
なお、事業効率の見直しにより、3月31日に6店を閉鎖しました。(ドン・キホーテセンター北駅前店、ピカソ港南台店、同 能見台駅前店、同 大宮南銀店、同 篠崎駅前店、同 西早稲田店)



月別販売高状況 (速報)
2020年 2 月期 ユニー(株)



ユニー(株)		2019年						上半期	2019年				2020年		下半期	通期
		3月	4月	5月	6月	7月	8月		9月	10月	11月	12月	1月	2月		
既存店	売上高	102.1%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	102.1%
	客数	100.9%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	100.9%
	客単価	101.1%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	101.1%
	衣料品	102.4%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	102.4%
	住居関連品	105.0%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	105.0%
	食品	101.5%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	101.5%
	対象店舗数	177店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	177店
	土日休日数増減	+1日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	+1日
全店	売上高	98.7%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	98.7%
	店舗数	182店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	182店
	前年同月店舗数	192店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	192店

UDリテール(株)

全店	店舗数	10店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	10店
----	-----	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

※(株)パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス100%子会社、「MEGAドン・キホーテUNY」及び「ドン・キホーテUNY」運営

<ユニー(株)>

総括：3月度は「衣料品」「住居関連品」「食品」とも前年を上回り好調に推移しました。中でも新生活需要を取り込んだ「住居関連品」が牽引しました。

商品別の概況：「衣料品」部門は、バーゲンが奏功したスニーカーや女性用の実用下着が売上増を牽引しました。「住居関連品」部門は、収納グッズなどのリビング用品や寝具、ドライヤーなどの小型家電など、新生活用品が高い伸びを示しました。「食品」部門は、豚肉をはじめとする精肉や鮮魚、日配品やお菓子などの加工食品が貢献したことにより、前年と比べ相場安の影響を受けた野菜の伸び悩みをカバーしました。

※ ユニー(株)における月次データは、1日始まり・月末締めの実績です(2018年11月度までは21日始まりの翌月20日締め)。

既存店の前年比は「曜日調整無し」のデータです(2019年2月度までは、「曜日調整後」の売上高(衣料品、住居関連品、食品)と、「曜日調整無し」の売上高(客数、客単価)を開示)。

<UDリテール(株)>

- (1) ダブルネーム業態転換店(3月度実績)：合計1店
- (2) ダブルネーム業態転換店(4月度予定)：合計3店(以下、業態転換対象店舗)
 - ① 4月下旬「ピアゴ今崎店」(滋賀県東近江市)
 - ② 4月下旬「ピアゴ富士中央店」(静岡県富士市)
 - ③ 4月下旬「ピアゴ気噴店」(愛知県春日井市)

※UDリテール(株)は、2019年2月28日付で(株)パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスの100%子会社になりました(ユニー(株)が保有するUDR株式をPPIHが取得)。